



# 越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵

R I 会長テーマ 「奉仕を通じて平和を」

クラブ会長テーマ 「奉仕を楽しむ為に60名会員の達成を」

平成25年1月24日 第1893回例会

## ロータリーソング斉唱「我らの生業」

ゲスト・ビジター紹介

越谷南 RC 米山奨学生 馬俊涛君

## 会長挨拶

岩淵秀一会長

皆さん今日は、18日の5クラブ合同新年会には大勢の会員の皆様に、ご参加を頂き有難う御座いました。他クラブと大いに親睦が取れた事と思います。本日も、又越谷の歴史の話をしたしたいと思います。今日は、大相模の大聖寺、別名大相模のお不動様の話です。



大聖寺の寺伝によりますと、天平勝宝2年(750)と言う年に良弁という高僧が相模国の大山で、一本の木から二体の不動尊を刻みました。そのうち元の方でほられた不動尊がこの地に祀られたので、大の相模と呼ばれるようになったといひます。

古い頃は、西片村などが武蔵野国騎西郡大相模郷、それに千足別府などが騎西郡八条郷の中にありましたが、江戸時代は武蔵野国埼玉郡八条領のなかに属しました。いずれの地も元荒川やその下流の中川にそった地域にあります。当時は大相模に入ると道には敷石がしかれ、両側に町家に似た農家が軒をつらねているが、大聖寺まではおよそ4～5町(500疔)程も読んでいます。その門前には『山内の竹木伐り取るべからず等』と認められた寛保4年(1744)の制札が建てられています。

入り口の仁王門は南向きで棟高く、その彫物は技巧を尽くしています。とりわけ、右の角から二本目の柱の上に彫刻されている牡丹を唾えた獅子の彫物は、いかなる番匠(大工)の作品によるものか立派なものです。門の上に『真大山』と記された額が掲げられているが、その筆者の名や印がないのは残念です。が実は松平定信の筆です。仁王門をくぐって、一町ほど左の方は僧坊(寺の建物)が軒を連ね、その塀の内側には出店の茶屋が床机をならべており、右の方は尼店とかいう店が庇をおろして小間物類などを商っています。

矢大臣門をくぐると、この辺りから境内は末広がり奥深く広がっている。矢大門の大きさは東西5間余(9疔)南北2間(3.6疔)程、これより不動産まで20間余もあろうか。

右手に鐘撞堂、それに料理屋が5,6軒ほど並び、左手には天神地祇など諸々の小社が祀られています。不動堂の北方に越ヶ谷に通じる裏門があり、その東方にも築比地などに通じる裏門があります。これらの門前にも旅籠屋や商家が軒をならべています。さて不動堂の周囲には庇がつけられた八間四方の勾欄(廊下のらんかん)があり、雨の日でも参詣人は足や衣服を濡らさず参拝できるようになっているのは、成田の不動堂と変わりはありません。

本堂正面の御厨子には寺院の紋章が高彫りされており、その内陣は壮巖のきわみであります。又、本堂の周囲には男や女の髪が数多く納められており、その不動信仰の深さが思い知らされます。さらに堂内には文禄・慶長元和・寛永年間の奉納になる絵馬なども掲げられ、古くからの名の知れた真言道場であったことを偲ばせています。かの成田の不動尊は、中古からふと繁昌をみた不動で、堀田相模守から録高50石の寺領を頂戴しましたが、この大相模の不動は相州大山のねもとで、徳川家康より禄高60石の朱印地を賜っています。

大相模不動を訪れた津田大浄は、大相模不動につき、以上のようなことを述べている。火災に遭い境内も狭まった現在の大聖寺と比較して興味ある話と言えよう、と言っています。

以上、会長挨拶と致します。

参考文献

越谷の歴史物語(第三集)

## 幹事報告

染谷宗一幹事

1. 地区より地区ロータリー財団補助金管理セミナーの案内が届いています。
2. ロータリーの友とガバナー月信が届いています。
3. ガバナーエレクト渡邊和良様より2013～14年度地区役員役員の委嘱書送付の案内が来ています。
4. 「仙台空港をバナーで埋め尽くし被災者を見守る」「仙台空港にモニュメントを建立する」プロジェクトの案内が来ています
5. 地区より地区広報部門・アドトレーラ運行の案内が来ています
6. リスボン国際大会の参加者の募集をしています。また、進捗状況を例会終了後説明いたします。

## 委員会報告

◇会員増強・退会防止委員会

中島頼光委員長

会員募集案内ができました。内容はクラブの活動等です。

ぜひ一人でも多くの人に入会していただきたいので、よろしくお願ひします。

◇新世代委員会 野呂田昭仁委員長

本日は韓国訪日団に伴うお礼を致します。お世話になった会員の皆さん有り難う御座いました。

◇プログラム委員会 深井良孝委員

本日時間があると言う事で吉田会員に卓話をお願いいたしました。

◇広報雑誌委員会 奥野明彦委員長

ロータリーの友紹介

◇ハイキング同好会 石塚一男委員

平成25年1月12日土曜日、東京谷中方面にハイキング報告。たくさんの会員の参加有り難う御座いました。

◇米山記念奨学金 岡田信昭委員長

ガバナー月信に12月の寄付者の名簿がございます。ご協力有り難う御座いました。下半期のご協力、ご理解お願い致します。

・吉田豊治会員、池田玄一会員、大熊進会員に次年度の地区役員委嘱証授与



・奥野明彦会員、米山功労者マルチプル授与



### 3 分 間 ス ピ ー チ

#### 浅水尚伸委員

先程、ロータリーの友の紹介の中でディズニーランドの事に触れていましたが、もう少し詳しくお話ししたいと思います。

ロータリーの友のタイトルにプロフェッショナルな仕事と書いてあります。我々は職業人の集まりとして、

プロフェッションをとて意識するところです。またボケーション、天職とロータリーでは言います。ある使命をおびてる、奉仕の精神や倫理水準が高いなど含めて天職と使う事がある。そこで皆様と考えていただきたい記事が、ディズニーランドの元総合プロデューサー堀卓一郎さんの話の中でありました。

ある日若い夫婦がディズニーランドのレストランに入ってきました。夫婦は2人掛けのカップル席に案内されると「お子様ランチ二つ」と注文しました。ところがディズニーランドにはお子様ランチは9歳までと決まりがありました。キャストは丁寧に頭を下げて言いました。「大変申し訳御座いません。お子様ランチはお子様限定のメニューになっております」それを聞いた女性はがっかりと肩を落としました。キャストは女性がとてもがっかりしたのを見て、これは特別な理由があるのでは、と思い思い切って尋ねてみました。「お子様ラン



チはどなたがお召し上がりになりますか？」女性は静かに話始めました。「実は子供がいたのですが、一歳の誕生日を迎える前に病気で亡くなりました。生前、子供の病気が治って元気になったら、いつかディズニーランドに3人で行ってお子様ランチを食べようねって約束していたのです。」「しかし、約束を果たせなかった。今日は子供の一周忌なのですが、子供の供養の為にその約束を果たそうと思いディズニーランドにきました。」「かしこまりました。お子様ランチを二つですね。それでは恐れ入りますがお席を移動していただきます。」キャストは頭を下げると、2人をカップル席からファミリー席に移動してもらいました。そして、キャストは2人の間に子供用のイスを準備すると、「お子様はどうぞこちらに」とまるでそこに子供がいるかのように導きました。しばらくするとお子様ランチを三つ持ってきて、子供用のイスの前に三つ目のお子様ランチを置いて言いました。「こちらはディズニーランドからのサービスです。ご家族でゆっくりお楽しみ下さい。」2人はとても感激しました。そして後日ディズニーランドに手紙が届きました。

お子様ランチを食べながら涙が止まりませんでした。私達はまるで娘が生きているかのように家族の団欒を味わいました。

この話のサービスもプロフェッションに通じるところがあると思います。私はある金融機関の顧問をやっています。債権管理部とお金の取り立てを専門にするセクションです。その人と先日話をしたのですが、今の若い社員は指示をすると、すべてマニュアルして下さいと言うそうです。しかし、会社で一人前になると言う事は、マニュアルに無い事を覚えていく事で、誰でもできる事では無いと話をしても理解ができないそうです。そんな時代になりつつある、しかし我々ロータリアンは臨機応変にハートのこもったサービスに努めていきたいと思いました。

#### 卓話・インドネシア報告

今回のインドネシア訪問、WCS の関係ですが、国際奉仕委員プロジェクト補助金が地区から出ます。これは2種あって、新築補助金とグローバル補助金です。新築補助金は非常にクラブとして身近に感じる内容で、申請にあたっては少額な補助になります。グローバルになると多額な補助金になりますのでクラブでは難しいと思います。このお金の基は、皆様からいただいている年次寄付の半分が地区に戻ってきて利用させていただいている。なお、グローバル補助金はそれに残っている半分からも拠出されるという事で、多額の補助金になります。

そこで当クラブは毎年、台湾台中南ロータリークラブから要請されまして、以前は台湾の中でプロジェクトに参加していました。例えば、台湾の学校にパソコン関係のモノを送る手伝いなど、今回中心は台中南ロータリーですが、相手国がインドネシアのスラバヤのクラブと合同でプロジェクトをおこなうという事でした。一昨年12月にも行き、当クラブ

#### 吉田豊治会員



から1000ドルを拠出し、台中南にお渡しして事業にあたりました。今回は地区の補助金をもって当クラブにて事業をおこないました。前は文房具を持っていったのですが、追加があったので今回は送りました。

計画は前年度で申請をして、今年度で実施したということです。また来年も計画があるそうですが、話がきた時にご相談いただければと思います。内容的にはインドネシアの貧困家庭に対する社会福祉活動になります。これはスラバヤ紅橋ロータリークラブと台中南ロータリークラブ、台北七星ロータリークラブ、当クラブの4クラブ合同のプロジェクトです。

国際奉仕のプロジェクトに貧困の問題と共に、飲料水設備の援助があり、今回は文房具などの教育教材の配布と、水道設備を二つの学校に作るお手伝いをしました。手を洗うのも川に行くような状況でした。また、相変わらずな事ではありますがトイレが整備されていないが、とても気になることです。資金的には合計で5000ドルの事業です。残金は今後のアフターケアに使うそうです。

スラバヤのクラブは昨年の世界大会で表彰されています。増強、事業の多さが評価されたようです。華僑の方が多くクラブで病院経営などもおこなっているようです。

来年もおこなうそうなので、ぜひ会員の皆さん行っていただければと思います。

◇社会奉仕委員会 中村幸江委員長  
グランドゴルフ大会の日程が決まりました。4月6日、皆様のご協力お願いいたします。

## スマイル報告

- 吉田さん卓話ありがとうございます・・・浅水、糸賀、奥野、加藤、神谷、清村、瀬尾、染谷、田中、中島、中村、仁多見、本田
- 吉田さんインドネシア報告ありがとうございます・・・池田(玄)、赤松、佐藤、深井
- 合同新年会お疲れさまです・・・池田(節)、木村、濱野
- 合同新年会、沢山のご出席ありがとうございます・・・岩淵
- 国際奉仕委員会の方々台中訪問に対しご苦勞様です・・・小林
- 韓国学生無事帰りました。感動していました・・・野呂田
- 中尾会員お世話になりました・・・吉田
- 馬君、帰国くれぐれも気を付けて・・・岡田
- 1月20日小林会員にお孫さんが無事産まれました。44歳のおじいちゃんおめでとー・・・遠山
- 谷中七福神巡り参加された方お疲れ様でした・・・石塚
- 全財産です・・・石田
- 本日早退します・・・中の
- 本日遅刻しました。本年度後半よろしくお願ひします。誕生日祝有り難うございます・・・中尾
- 毎度お世話になっております。今年もよろしくお願ひいたします・・・大門スタッフ一同

## 出席報告

例 会 日	平成25年1月24日		
会 員 数	51名	出席	27名
出席免除者	11名	欠席	13名

出席率	64.71%	前々回MU	1名
MU修正率	66.67%	会報担当：仁多見	

————— クラブプロフィール —————

☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区  
台中南区扶輪社(中華民國台中市)

☆例会日 毎週木曜日(PMO:30~1:30)

☆例会場・事務局 〒343-0842  
越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階  
TEL 048-987-5761  
FAX 048-987-5762  
E-mail [info@koshigayasouth-rc.jp](mailto:info@koshigayasouth-rc.jp)